

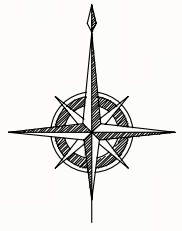
【評価調書様式 1】

投資事業評価調書（新規）

部課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 國塚康平 (中島勉)	内線	4401
------	-------	---------------------	----------------------	----	------

事業種目	道路	事業名	事業区間	総事業費	8.9億円
		(一) 茅野福岡線 地方道路交付金事業	美方郡香美町村岡 区口大谷～中大谷	内用地補償費	0.6億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
美方郡香美町村岡区口大谷～中大谷			H20	H20	H24
事業目的			事業内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現道は、幅員が狭小であるが、民家が連続し、拡幅を行うことが困難である。このため、バイパス路線を整備することにより、除雪作業による通行止めの時間短縮や、有事の際の緊急車両の進入等、民生の安定を図る。 ・ 国道9号から四季型観光拠点施設(ハチ北及びスカイバレースキー場)へのアクセス強化により入込客の増加を図り、地域産業の活性化を図る。 			道路改良(バイパス) L=1,520m 計画交通量：800台/日 計画幅員：W=5.5(7.0)m 2車線歩道なし 重要構造物：橋梁2橋 現況交通量：1,033台/日 現況幅員：W=4.0(5.0)m 【負担割合：国55% 県45%】		
評価視点		評価結果の説明			
(1) 必要性 安全・安心		現道の茅野福岡線は民家が連続し幅員が狭小であり、本バイパス路線を整備することで、大型バスとのすれ違いによる危険性を解消し、通学児童生徒の安全性が確保される。また、災害時の緊急避難路としての効果が期待される。			
地域の活性化		県下有数の2つのスキー場(年間入込客：ハチ北スキー場20万人、スカイバレー8万人)への連絡が強化され、地域の観光産業の活性化と雇用の拡大が期待される。			
交流・連携を支えるみちづくり		中大谷、大笹集落から国道9号へ最短で連絡し、地域間の交流・連携の強化が図られる。			
地域のニーズ		地すべり区域内を通過する県道に対する不安は大きく、新設道路への期待は大きいものがある。			
(2) 有効性・効率性 有効性		本路線の整備によって除雪作業の効率化が可能となり、これに伴い通行止めの時間短縮が図られる。			
代替性		現道(茅野福岡線)は人家連亘であるため現道拡幅は困難であり、バイパス整備による道路整備が最適である。			
効率性		用地については地権者の承諾が得られており、円滑な事業の進捗が図られる。 費用便益比 B/C = 1.13 (2.49 : 観光客増を考慮)			
(3) 環境適合性		切土及び盛土のり面は、周辺植生に配慮した緑化等によるり面保護を行い、周辺環境への影響を最小限に止める。			
(4) 優先性		冬季積雪時の地区住民の不安解消や、地域産業の活性化のため早急な整備が望まれる。			

位置図



至鳥取

一般国道9号

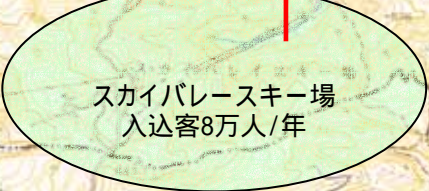
県道茅野福岡線

未改良

地すべり指定区



八子北スキー場
入込客20万人/年



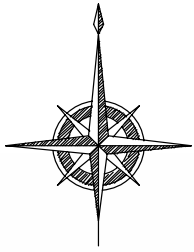
スカイバレースキー場
入込客8万人/年

現道利用
L=0.1km W=5.5(6.5)m

事業区間
L=1.5km W=5.5(7.0)m

至京都

茅野福岡線 計画ルート図

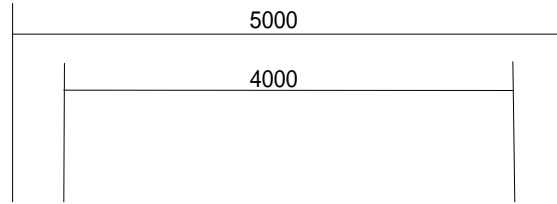


道保 - 3

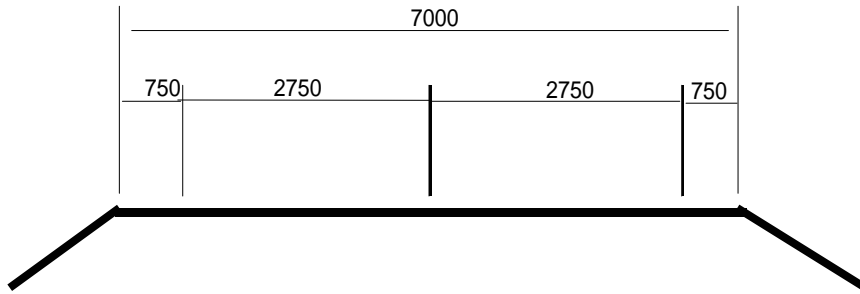


標準断面図

県道茅野福岡線



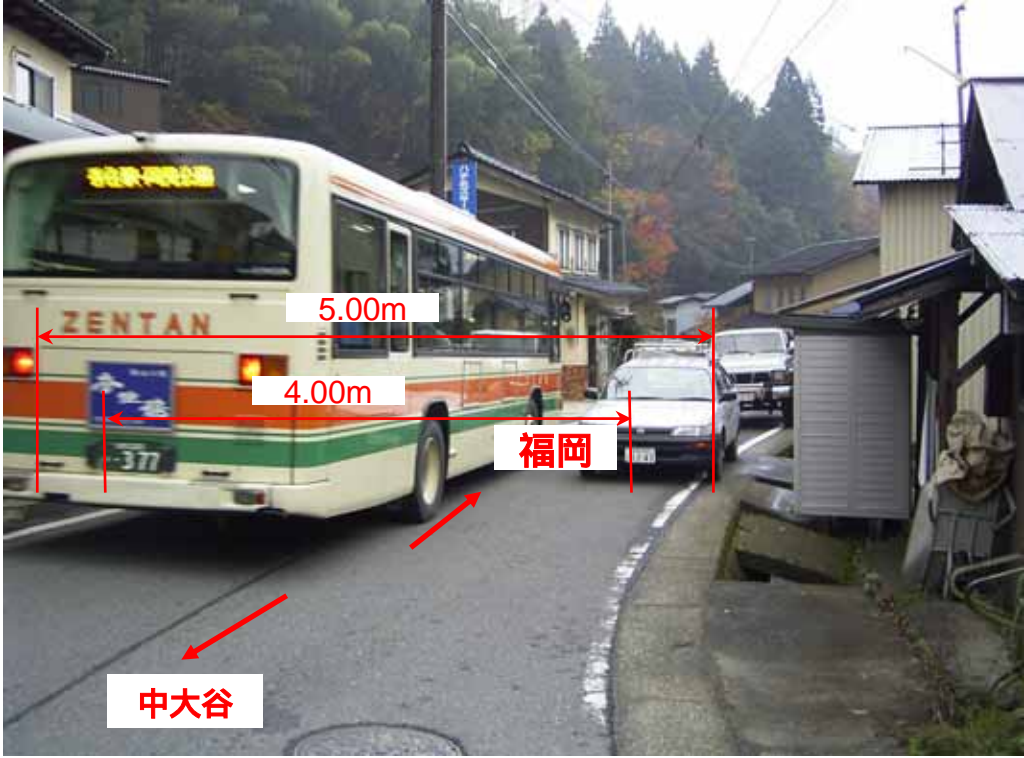
バイパス整備後



事業スケジュール

費目	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
測量試験					
用地補償					
工 事					
備 考	詳細設計 用地買収	用地買収 道路工事	道路工事 橋梁工事	道路工事 橋梁工事	道路工事

県道茅野福岡線現況写真



県道茅野福岡線現況写真

